

フラウドシティ線

で行く「バスの旅」

ご乗車ありがとうございます。

お乗りのフラウドシティ線は、JR 稲毛駅西口5番乗り場を起点に京成稲毛駅、浅間神社、フラウドシティを経由し、京葉線稲毛海岸駅を終点とする片道約18分の折り返し運転をしています。

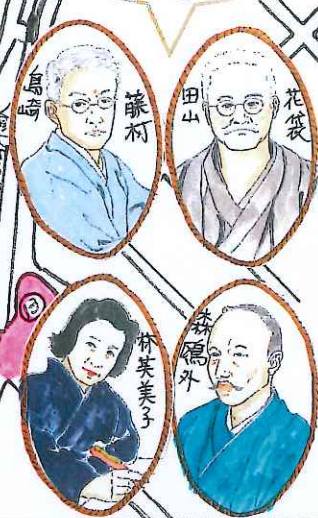
現在の国道14号、国道357号から西はかつて遠浅の海であり、白砂青松が続く稲毛海岸は、明治時代後半から保養地となり、別荘が建てられ、海水浴や潮干狩りなどで賑わいました。

日本文学史に名を残す文人墨客達も美しい風景に惹かれ、この地を訪れ、いくつかの作品が書かれています。

また、遠浅の干潟を利用した日本初の民間飛行場やこじま公園の名の由来となった巡視船「こじま」の事など路線周辺には、多くの見所があります。フラウドシティ線で行くバスの旅をお楽しみください



⑧ プラウドシティ・イースト ⑨ プラウドシティ・マオコー前 ⑩ プラウドシティ・ウエスト ⑪ 稲毛海岸五丁目 ⑫ 齒科大入口 ⑬ 稲毛海岸駅 ⑭ 稲毛東丁目



電気ブラン
浅草神谷パーの創業者神谷
伝兵衛が明治15年(1882)に、
つくり、人気となりました。
京成稲毛駅近くの酒屋まで
売っている。

明治天皇御立所
明治15年(1882)、演習を
ご覧の際、休息をされた
場所です。石碑あり。



二本松
弁財天
稲毛公園の地
を埋め立てた時
白蛇が逃げだし
この辺りで姿を消
しました。それを
お祭りしました。



稲岸公園 根上りの松
根の上は、海の上に
生えている名松です。
日本の名松100選です。



海雲館
明治21年(1888)、養老軒と
してオープンし、その後旅館
へ。多くの文人が訪れま
した。



神谷伝兵衛稲毛別荘
「日本のアインツ」とおぼしめ
神谷氏の別荘。外観も内
装も素晴らしいです。



稲毛を訪れた文豪たち
この他にも多くの文人達が
稲毛にいらっして
います。

浅間神社
大同3年(808)
に勧請。
産産と子育ての
神様です。
7/4、15に夏の
大祭があります。



民間航空発祥の地
明治45年(1912)、奈良原三三
が、稲毛海岸にて日本初の飛行に
成功。イラスト「鳳号」
彼の父は、寺田屋事件・綾
事件に関与したと云。



「中か」の家、いなか
ファストエンターテインメント
浄儀の茶、淳儀氏の新婚
生活を営んだ家、古くは
日本家屋です



千葉トヨペット本社屋
明治32年(1899)日本勧業銀
行本店として建築。
国の登録有形文化財



こじま展示室
こじま公園の名の由来となった巡視
船「こじま」は、前身は「志賀」として、帝國
海軍の海防艦として活躍しました。
今は、高洲スポーツセンター内に部品が
展示されています。

